



「開国・開港 Y150」 第1期前売入場券販売実績 41万枚を突破

横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」の第1期前売入場券については、6月2日から販売を開始しましたが、このたび、6月30日現在の販売状況が確定しましたので、お知らせいたします。

【6月30日現在販売実績】 41万8千枚

- ◆ (財)横浜開港150周年協会では、6月2日から横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」の第1期前売入場券の販売を開始しましたが、6月30日現在集計で、41万8千枚の入場券を販売しました。
- ◆ これは、前売入場券目標(300万枚)の14%弱に当たります。
- ◆ 販売割合としては、旅行代理店等の入場券先行買取の需要が多くを占めており、国内では「愛・地球博」以来となる大型イベントに対する旅行代理店の期待が大きいことを示しています。
- ◆ 今後は、このような旅行商品需要だけでなく、団体・企業などへの当協会直接販売の強化を図ってまいります。

(参考)販売期間

第1期前売 2008年 6月2日 ~ 2008年11月30日

第2期前売 2008年12月1日 ~ 2009年 4月27日

(参考資料)

1. 入場券の種類、区分、入場料金
2. 入場券優待サービス
3. 「開国・開港Y150」開催概要

参考 1

■入場券の種類、区分、入場料金

※網かけ部分が第1期前売入場券

入場券の種類	区分	料 金(円)			備 考
		第1期前売	第2期前売	当日券	
ベイサイド普通入場券	大人	1,800	2,200	2,400	ベイサイドエリア1日フリーパス券
	中人(高校生)	900	1,100	1,200	
	小人(小・中学生)	600	700	800	
	シニア(65歳以上)	1,400	1,700	1,900	
ベイ・ヒルセット入場券 (ベイサイド入場券) (ヒルサイド入場券)	大人	2,200			第1期限定販売 ズーラシアの20%割引券がついています。
	中人	1,100			
	小人	700			
	シニア	1,700			
ベイサイド全期間入場券	大人	10,000	10,000	10,000	写真貼り付け本人に限り、開催期間中有効で、 入退場自由 シニアの適用範囲については、開催期間終了日 までに65歳以上の者
	中人	5,000	5,000	5,000	
	小人	3,300	3,300	3,300	
	シニア	8,000	8,000	8,000	
ベイサイド特別割引入場券	大人	1,200	1,200	1,200	身体障害者手帳、療育手帳等を所持する方 及びその介護者2名
	中人	600	600	600	
	小人	400	400	400	
	シニア	1,000	1,000	1,000	
ヒルサイド普通入場券	大人			600	ズーラシアの20%割引券がついています。
	中人			300	
	小人			200	
	シニア			500	
ベイサイド夜間割引入場券	大人			1,200	18時以降入場可 入場券販売開始時間:16時～
	中人			600	
	小人			400	
	シニア			1,000	
ヒルサイド全期間入場券	大人			2,500	写真貼り付け本人に限り、開催期間中有効で、 入退場自由 シニアの適用範囲については、開催期間終了日 までに65歳以上の者
	中人			1,250	
	小人			800	
	シニア			2,000	
ヒルサイド特別割引入場券	大人			300	身体障害者手帳、療育手帳等を所持する方 及びその介護者2名
	中人			150	
	小人			100	
	シニア			250	
ベイサイド回数割引入場券 (1冊6枚)	大人			13,500	6枚つづりセット券 ベイサイド販売期間:2009/4/28～9/18 ヒルサイド販売期間:2009/7/4～9/18 特定日は適用しない
	中人			6,900	
	小人			4,500	
	シニア			10,500	
ヒルサイド回数割引入場券 (1冊6枚)	大人			3,300	5月2日(土)～5月6日(水) 8月8日(土)～8月16日(日) 9月19日(土)～9月27日(日)
	中人			1,600	
	小人			1,000	
	シニア			2,700	
ベイサイド学校団体割引入場券	高校生			600	教育活動として教職員が引率する生徒・児童 で構成する団体
	小・中学生			400	
ヒルサイド学校団体割引入場券	高校生			150	
	小・中学生			100	
ズー割入場券	大人			500	ズーラシア入園者を対象とした割引券
	中人			250	
	小人			150	
	シニア			400	

●入場券販売期間

第1期前売 2008年6月2日(月)～2008年11月30日(日)

第2期前売 2008年12月1日(月)～2009年4月27日(月)

ベイサイドエリア開催期 2009年4月28日(火)～2009年9月27日(日)

ヒルサイドエリア開催期 2009年7月4日(土)～2009年9月27日(日)

●入場券販売箇所

旅行会社、コンビニエンスストア、プレイガイド、鉄道会社、流通業などで販売予定。
詳細については、今後協会ホームページなどで公開します。

●当日の入退場について

ベイサイド券:任意の1日入退場自由

ヒルサイド券:任意の1日1回のみ入場可

全期間:開催期間中有効で、入退場自由

「開国・開港 Y150」入場券の優待サービスもますます充実

～Y150入場券で横浜を150%楽しもう!!～

Y150期間中、ベイサイド入場券(実券)を提示すると、以下の施設でおトクな割引サービスが受けられます。今後もさまざまな施設・店舗と連携し、Y150入場券を“横浜のパスポート”にしていきます。

(順不同、7月5日現在)

施設名	割引内容	通常大人料金(円)
帆船日本丸※1 横浜みなと博物館	入館料50%OFF	600
三菱みなとみらい技術館	入館料無料	300
シルク博物館	入館料50%OFF	500
日本新聞博物館	入館料50%OFF	500
日本郵船歴史博物館	2館セットで	500
日本郵船氷川丸	300円(大人)	200
横浜ランドマークタワー 69F 展望フロアスカイガーデン	入館料50%OFF	1,000
ロイヤルウイング	乗船料50%OFF	2,100
よこはまコスモワールド※2		
・大観覧車「コスモクロック21」	利用料500円	700
・ディスクオー	利用料300円	500
・ファミリー・バナナ・コースター	利用料200円	300
・ダイビングコースター	利用料500円	700
・急流すべり	利用料400円	600
・メリーゴーランド	利用料200円	300

※ 1. 横浜マリタイムミュージアムは2009年春「横浜みなと博物館」と改称し、「帆船日本丸」とともにリニューアルオープンします。

※ 2. 2009年5月2日～6日、7月18日～20日、8月1日、8月13日～16日、9月19日～23日は割引を除外させていただきます。

※ 他の割引券との併用はできません。各施設の割引は、入場券をお持ちのお客様お一人、各1回限り有効です。

※ これ以外に、ベイ・ヒルセット券およびヒルサイド入場券には、よこはま動物園(ズーラシア)入場割引券(20%OFF)が添付されています。

※ 各施設により休館日、開閉館時間が異なりますのでご注意ください。また特別展開催時は、料金変動する場合があります。

参考 3

横浜開港150周年記念テーマイベント 「開国・開港Y150」

150年分、横浜を楽しむ歴史と未来の大祭典。

テーマは「出航」

「海」「街」「自然」が生きる横浜の3つのエリアで開国・開港150周年を祝うイベントを盛大に開催

「開国・開港Y150」は、横浜開港150周年記念事業のコアとなる横浜にとって50年に一度の大型イベントです。

横浜は、1859年の開港以来、開港50年、開港100年と、盛大な祭典を行ってきました。そして2009年、開港150周年記念として「開国・開港Y150」を開催します。

開催概要

- 正式名称 横浜開港150周年記念テーマイベント「開国・開港Y150」
- 主催 財団法人横浜開港150周年協会
- 有料入場者数 500万人（予定）

「マザーポートから7つのたねをのせて、横浜から世界へ。」

これからの150年—横浜のゆめ、地球の希望。

現在、わたしたちには持続可能な発展のために地球規模での共生が求められています。150年間、多様な文化を受け入れ、それらを大きく育ててきたマザーポート横浜には、この地球的課題に応える「7つの力のたね」があります。

いま、この「7つの力のたね」によって、横浜が描き出す夢こそが「地球の希望」となり、横浜を「地球的共生を目指す、地球都市」へと導くのです。

地球に集ったすべての多様な「たね」たちは、その個性を發揮しながらさらなる150年を目指して、参加・協働・創発します。

日本第二の都市という枠組みを遥かに超えて、世界に冠たる地球的共生のモデルとなり、地球都市を目指して、アジアへ、世界へ・・・！

これからの150年に向かって、横浜に育った7つのたねを乗せて、マザーポートから「新しい横浜」が出航します。



会場



- ◆ベイサイドエリア (みなとみらい21新港地区周辺)
 - 【会期：2009年4月28日(火)～9月27日(日) 10:00～22:00】
 - 横浜の原点でもある海と港の景観の中に複数のイベント会場が集まる記念イベントの中心エリア。3つの有料入場施設と4つの周遊会場で構成。大型のエンターテインメントなどが賑わいを演出します。
- ◆ヒルサイドエリア (横浜動物の森公園 ズーラシア隣接地区)
 - 【会期：2009年7月4日(土)～9月27日(日) 9:30～17:30】
 - ※但し、8月の毎週土日及び9月19日～27日の19日間は、9:30～20:30。
 - 有料入場施設のひとつで、豊かな自然の中に子どもから大人までが集まり、様々な市民創発プログラムを展開します。
- ◆マザーポートエリア (横浜駅周辺から山下・山手地区)
 - 【会期：2009年の年間を通じて展開】
 - 横浜の繁華街や商店街と連携し、「横浜回遊ルートマップ」やスタンプラリーを用意。お客様一人ひとりを街全体が笑顔でお迎えます。
- ◆市民参加イベント
 - ・横浜FUNEプロジェクト 2009年ベイサイドエリア(大さん橋会場)に展示。
 - ・横濱・開港キャンドルカフェ150 ナビオス横浜をメイン会場としたベイサイドエリアを2009年には、15,000灯のキャンドルで彩ります。
 - ・DO-RA-MA YOKOHAMA150 2009年夏から管内ホール、市内公会堂、区民文化センターなど8区9会場にて公演予定。

「ワイひやくごじゅう」「たねまる」と呼んでください！



「たねまる」は、横浜開港資料館の中庭にある「タマクスの木」の精。150年前、日本が開国・開港をした時から、ずっと日本を見守ってきました。次の150年に向けて、新しい「チカラのたね」を乗せ、アジアへ、世界へ向けて2009年「出航」します。



◆ベイサイドエリア

有料
入場施設

①Y150はじまりの森(新港地区 8 街区) 横浜の歴史・創造都市横浜

「共生力」のたね



- ◆日本初!巨大生物マシン出現! フランスの世界的アートパフォーマンス集団「ラ・マシン」が繰り広げる感動パフォーマンス。
- ◆横浜ものがたり ベリー響応の間や、横浜の港と街を築いた先人たちをテーマとした大型映像シアター、横浜のはじめてにちなんだワークショップを「たまくすの学び舎」で展開します。
- ◆ナイトピクニック 夜間はライトアップ演出で夜の「涼」を演出します。
- ◆テーマレストラン 黒船をイメージした内装のフードコートを展開します。

有料
入場施設

②Y150トゥモローパーク(新港地区 7 街区) 未来の横浜と地球の未来へのメッセージ

「共感力」のたね



- ◆Y150未来シアター 横浜を舞台とした近未来ファンタジーを岩井俊二総合プロデューサーによるアニメーションシアターで展開します。※タイトル「バトン」
- ◆屋外催事ステージ 開港5都市5カ国パフォーマーによるオープニングイベントや、たねまるの着ぐるみによるディレイイベント、出演者が総集結するフィナーレイベント、協賛社やメディア等による多彩なイベントを展開します。
- ◆アースバルーン 環境をモチーフにした光と音のナイトスペクタクルを每晚展開します。

有料
入場施設

③Y150ドリームフロント(新港ふ頭) 子どもたちとを感じる未来と想像力

「想像力」のたね



- ◆スーパーハイビジョンシアター 誰もが初めて体験する超高精細映像と立体音響による究極の臨場感を体験できる映像コンテンツを540インチの大画面で展開します。
- ◆企業パビリオン 日本を代表する企業による、子どもと環境をテーマとしたパビリオン出展ゾーンとなります。

周遊
会場

④赤レンガ会場(広場) バザールと国際交流

「交流力」のたね



- ◆バザールゾーン、イベントゾーン、オフィシャルショップ 開港5カ国(アメリカ・イギリス・フランス・オランダ・ロシア)・5都市(函館・新潟・神戸・長崎・横浜)や地元横浜等の商品を集めた出店ゾーンを展開します。

周遊
会場

⑤大さん橋会場・赤レンガ会場(1号館) ベイサイドの市民参加、ふれあい交流イベント

「交流力」のたね



- ◆横浜FUNÉプロジェクト 日比野克彦アートプロデューサー監修による横浜ゆかりのFUNÉ(船)の制作ワークショップと展示。
- ◆18区参加イベント 横浜市内18区による区ごとのステージイベントなどを展開。
- ◆テーマ型市民催事 市民参加プラットフォーム主導によるテーマ型市民参加イベントを展開。

周遊
会場

⑥象の鼻会場 アーティスティックな快適オープン空間

「創造力」のたね



- ◆Y150アートパーク 日比野克彦アートプロデューサー監修によるたねとふねと灯台をテーマとしたアートワークを開催。
- ◆トリックアート 地面に描かれた黒船の絵が立体的に浮かび上がるフォトポイント。

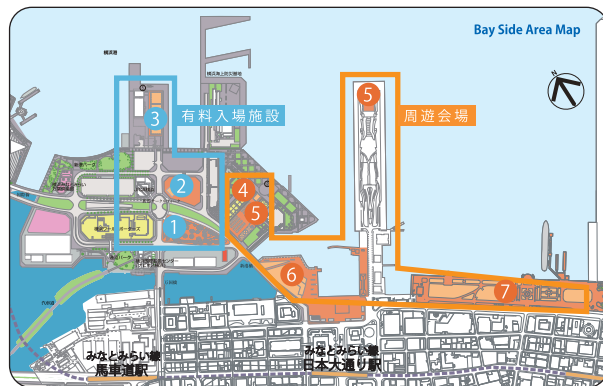
周遊
会場

⑦山下公園会場 海・船・地域との交流イベントゾーン

「横浜力」のたね



- ◆黒船来航イベント 黒船を彷彿させる外輪型蒸気帆船が来航し、開国当時のイメージを現出させるショーを実施予定。
- ◆ミニアトラクション 黒船来航にあわせ、ペリー来航時の姿に扮した演者によるパフォーマンスを展開。
- ◆日本郵船氷川丸との連携 日本郵船氷川丸と連携し、横浜開港150周年記念イベントとしての展示などを実施予定。

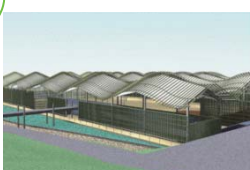


◆ヒルサイドエリア

有料
入場施設

Y150つながりの森(横浜動物の森公園 ズーラシア隣接地区) 集まれ!一粒のチカラ~364万人の夢の種~

「市民力」のたね



- ◆市民創発プログラム 「私からはじめるこれからの150年」をテーマに、自然あふれる会場で、市民自らが企画出展する多様な参加体験及び展示プログラムを展開します。
- ◆竹の海原 会場の中央にはシンボルとして、我が国最大級の竹を使った施設「竹の海原」があります。里山の自然を復活させるために、放置された竹林などからその多くを伐採します。竹の一部は市民と一緒に協働して伐り出します。

◆マザーポートエリア

周遊
会場

コミュニティ連携 ~母なる港「横浜」の町との交流~



- ◆テーマイベントへの地域の参加と連携 地域や商店街、イベントオーガナイザーとのコミュニケーションを通じて参加連携しやすい事業を今後具体化します。
- ◆テーマイベントと地域の回遊促進、イベント連携 マザーポートエリア回遊を促進し「横浜力」を実感するための「ツール」としての回遊ルートマップなどを制作します。
- ◆街・企業・市民の参加とこれらの活動を通じたプロモーション